

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要					
事業開始年度 平成17年度					
総合計画	大項目	02	健康でやさしさあふれるまちづくり	根拠法令・例規等	国民健康保険法
	中項目	01	やさしさあふれるまちづくり	担当課(室)	保健課
	小項目	07	保険給付(国保)	職・氏名	保険医療係長 大峰一吉
事務事業名			01 国保運営事業	先電話	64-1819
				このシート作成に要した時間	3.0 時間

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	国民健康保険に加入している被保険者
目的(何のために)	国民健康保険制度の適正な運営を行なうことで、信頼ある制度として安定させる。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	国民健康保険財政の健全運営(国民健康保険税の収納率向上)

事業の実績			
目的を達成するための実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	国保運営費	国民健康保険制度を適正に運営するために被保険者証の印刷、制度啓発パンフの印刷、電算処理の委託などを行っている。	○
	連合会負担金	レセプト点検、レセプト電算処理を国保連合会に委託していることに伴い負担金を支出している。	○
	国保運営協議会	国民健康保険事業の運営に関する重要事項を審議するため年2~3回、運営協議会を開催している。委員10人。	○
	収納率向上対策事業	徴収嘱託員の雇用や夜間の電話催促、市町村税整理組合への徴収委託などにより歳入の確保に努めている。	○
	資格証・短期証交付事務	被保険者の負担の公平を図るとともに、未収国保税の収入を確保し、国民健康保険事業の健全な運営に資するため、国民健康保険税を滞納している世帯に対して、短期被保険者証の交付を行い、国保税の納付相談及び納付指導を行っている。	○
	償還金返還金	療養給付費等負担金、財政調整交付金等について、実績に基づいて超過交付があった場合に返還する。総合保健施設建設時の市債償還。	○

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
決算額	直接事業費	千円	58,042	36,334	44,361
	必要人員人件費	千円	2.40人	15,103	2.51人
	事業費計	千円	73,145	51,793	73,478
	国県支金	千円	31,066	8,818	12,250
	受益者負担	千円			
	繰入金	千円			
その他(雑入)	千円		8,610		
一般財源	千円		42,079	34,365	61,228
受益者負担比率	%		-	-	-
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	国民健康保険被保険者数	説明	被保険者1人当たり費用額		
	結果指標量	人	15,991	10,627	10,626
	対前年比	%	-	66.5%	100.0%
	活動コスト	円	73,145,000	51,793,000	73,478,000
単位当たりコスト	円	4,574	4,874	6,915	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
国民健康保険税収納率(一般現年分)	目標値(A)	92	92	92	92
	実績値(B)	89.65	90.95	90.76	到達目標値
	達成率(B/A)	97.45%	98.86%	98.65%	92
成果指標設定の考え方・式や説明					
一般被保険者国民健康保険税収納率/一般被保険者国民健康保険税額 税負担の公平性を保つ必要があることから収納率を指標としている。					

事務事業の評価		妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	C
	必要性	
効率性の評価	コスト	C
	手段	
有効性の評価	目的達成度	C
	市民参画度	

留意事項
事業の目的やその数値の評価指標である成果指標を行って下さい

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明		○				
継続した収納率向上対策を実施することで収納率の向上に努める。						

総合評価		評価区分 <A~E>	妥当性
制度改正の影響が収納率にも及んでいる状況である。しかし、負担公平の観点から収納率の向上に努め、併せて適正な資格管理を行い国民健康保険制度の安定運営と国民健康保険財政の安定に努める必要がある。		C	△ 有効性

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標		○				
継続した収納率向上対策を実施することで収納率の向上に努める。						